

校訓 「修文錬磨」

＜本校のミッション＞

- ◆「最良の学びの場（授業、人間関係形成、支援、環境他）」を生徒に提供する。
- ◆「学校は生徒の成長のため、可能性を伸ばし広げるためにある。」という学校の存在意義のもと、生徒から可能性を引き出し磨く。
- ◆「社会に開かれた教育課程」を進め、学校と地域がお互いにみどりある持続可能な関係を築き、地域の中の学校としてその役目を果たす。

＜学校教育目標と目指す生徒像＞

挑戦と努力を継続し、自他を高め、社会に貢献する生徒の育成

- ◆**凡事徹底**（知識・技能）
「基礎・基本を大切にする生徒」
- ◆**修文錬磨**（思考力・判断力・表現力）
「学問・技術・礼儀を身に付けるため、学び・鍛え・磨く生徒」
- ◆**進取果敢**（学びに向かう力・人間性）
「自ら生き方を考え、目標を設定し、取り組む生徒」

＜本校教職員の願い＞

- ◆全力で考え失敗しても何度も挑戦する生徒に
- ◆正しく選択、判断する力を持った生徒に
- ◆地域行事に参加し、地域へ貢献する生徒に
- ◆当たり前のことを心を込めてしっかりと取り組みやりきる生徒に
- ◆人の役に立つ、人のために働ける生徒に
- ◆夢ややりたいことに向かい頑張る力（体力、忍耐力、継続する力、挑戦する意欲）のある生徒に
- ◆心が通う思いやりのある生徒に
- ◆知的好奇心ある生徒に
- ◆一人一人の良さを認め合える学校に

＜保護者・学校関係者の願い＞

- ◆確かな学力を身に付けた生徒に
- ◆コミュニケーション力のある生徒に
- ◆意欲があり、粘り強く諦めない生徒に

＜目指す教職員像＞

- ◆確かな実践で、信頼される教職員
- ◆深い教育愛を持ち、敬愛される教職員
- ◆広い教養と、高い専門性を持つ教職員
- ◆個性を発揮し、協働する教職員
- ◆謙虚に振り返り、努力し続ける教職員

＜資質・能力＞

＜具体の生徒像＞ どんな生徒か

＜資質・能力＞	＜具体の生徒像＞ どんな生徒か		
	知	徳	体
生きて働く 知識・技能 の習得	授業や家庭学習を大切にし、基礎基本が定着している。	善悪の判断や基本的なものの見方、考え方が身に付いている。	基本的な生活習慣を身に付け、学習や諸活動に継続して取り組んでいる。
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力 等の育成	主体的に考え、根拠を基に論理的に説明できる。	コミュニケーションをとおして、自他の価値観を認め、共に高め合うことができる。	あきらめずに工夫し、自他の安全を意識して活動することができる。
学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性 の涵養	授業や諸活動で学んだことを、自分から進んで日々に生かしている。	よりよい生き方をするために必要な力を自覚し、身に付けている。	自ら進んで、社会の向上や課題解決に貢献している。

今年度の5つの重点

1 新学習指導要領に沿った学習指導の展開

- 校内研究テーマ「主体的に学ぶ生徒の育成」
- 全教職員による「実態に応じた指導の工夫」の実践
- 諸調査を活用した生徒の学習実態の把握と生徒個々のつまづきへの適切な対処
- ICT機器活用力や情報処理能力の向上と探究的・創造的な学習の推進
- 家庭学習を授業と連動させ計画的・継続的に実施
- 朝読書や新聞を活用した活動等の一層の充実
- 「西根町史」活用による郷土についての学習の深化

2 好ましい人間関係を育む生徒指導と道徳・特別活動の充実

- 「生徒指導の3つの機能」を生かし、「安心・安全な風土の醸成」を目指した指導・支援の推進
- 生徒指導連絡会（火2指導会）の定期開催による組織的、継続的な指導・支援
- 学校不適応生徒の早期発見、指導体制の充実と意図的・継続的な指導並びに保護者との連携
- 人間としての生き方指導や健康・安全・生命の尊重、望ましい勤労観・職業観の育成
- 考え議論する道徳の授業の充実と内面に根ざした道徳性の向上

3 開かれた活力ある西中文化の創造

- 明るくさわやかで魅力ある学校を目指したあいさつ運動、清掃活動、ボランティア活動、合唱活動のより一層の推進
- 各種コンクールや検定等の取組の指導・支援
- 学校からの積極的な情報発信による、家庭、地域、小学校等との共通理解や協働を推進 ※ HPの定期更新
- 部活動等をとおした生徒の健全育成と活気ある雰囲気づくり、地域移行等よりよい指導体制の構築や環境整備の推進

4 特別支援教育の視点による指導・支援の充実

- 特別支援教育の視点によるあらゆる支援のあり方の捉えなおし
- 全ての生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現を目指した全教職員による生徒個々の強みや弱みの把握と成長支援

5 復興・防災・命の教育の充実

- 自他の命と健康を大切に思う気持ちを育てる生き方講座の充実
- 外部講師による講話（震災体験、地域防災）に加え、継続的・段階的な体験活動、市火山防災副読本の系統的活用、防災教育に係る学区内小学校との連携取組の推進
- 気づき・考え・実行する態度の育成 ※ 校外へも目を向けて
※ 令和5・6年度青少年赤十字（JRC）研究推進校の指定

教職員の基本スタンス

率先垂範

- ▶ 全生徒の担任であるという意識をもつ。
- ▶ 生徒との対話をとおし、共に考える。
- ▶ インクルーシブ（包摂的）な経営をする。
＜学級経営、教科経営、部活動経営、……＞
- ▶ 一を大切にする。
- ▶ 生徒の発想や思考を生かす。
- ▶ 社会とのつながりを意識させ、行動を促す。
- ▶ お互いを思いやる温かい職員集団を目指す。